

茨城空港アクセス道路と
6号バイパスを利活用した
まちづくり特別委員会
会議録

令和6年6月6日(木)午後2時50分
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

茨城空港アクセス道路と6号バイパスを利活用した まちづくり特別委員会

令和6年6月6日(木) 午後2時50分
小美玉市役所 3階 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 茨城空港アクセス道路と6号バイパスを基軸とした2路線の周辺整備について

(2) その他

4 閉 会

出席委員（9名）

1番	鬼田岳哉君	8番	長津智之君
9番	島田清一郎君（副委員長）	10番	鈴木俊一君（委員長）
11番	村田春樹君	12番	長島幸男君（議長）
15番	岩本好夫君	16番	福島ヤヨヒ君
17番	大槻良明君	20番	荒川一秀君

欠席委員（1名） 19番 市村文男君

議会事務局職員出席者

書 記 菅 澤 富美江

午後 2時50分 開会

○副委員長（島田清一郎君） 皆さんおそろいようですので、ただいまから茨城空港アクセス道路と6号バイパスを利活用したまちづくり特別委員会を開会いたします。

最初に、委員長挨拶、鈴木委員長、お願いいたします。

○委員長（鈴木俊一君） 本会議終了後のお疲れのところご参集いただきまして、ありがとうございます。本日、新しい進展がございましたので開くことにしました。よろしくお願いたします。

○副委員長（島田清一郎君） ありがとうございます。

それでは議事に入ります。

議事の進行は鈴木委員長にお願いいたします。

○委員長（鈴木俊一君） それでは、ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。議事に入りますが、資料の方、ご準備お願いいたします。5ページお願いいたします。県の方から情報提供がございまして、皆さんもご存じの通り、圏央道沿い、常総市や坂東市の方の工業団地、インターチェンジ付近の開発がすごいというのはご存じの通りでございますけれども、5ページを見ていただきますと、ここに15の工業団地が出ておりますが、そのほとんどが完売ということで、著しく伸びているという状況がわかっております。それを受けまして、我が小美玉市にも、県の工業団地がございまして、9ページをお願いします。茨城空港のテクノパークの状況ですが、現在はまだ十分に余裕があることがわかります。現在は成田運輸さんとクドウさんとフレックスさんが来ておりますが、今後大きく変わるんじゃないかということが期待できます。というのは、先ほどの常総市や坂東市のインターチェンジが開通したことによって、あれだけの開発がどんどん進んで、しかも完売している状況です。この茨城空港の周辺でも、13ページをお願いします。令和7年から8年にかけて、銚田から潮来までの東関東自動車道水戸線が開通する見込みになっております。おそらくここが抜けると、このテクノパークの方も、インターチェンジから近くということで、高速道路が整備されることによって、ここも大いに期待ができるようになってくるんじゃないかなってということがわかりました。そして、新しい情報というのが、20ページになります。地域未来投資促進法、略して未来法と言っているようですが、これもこれまで前回の委員会ですらんな障壁があるということで、農地を転用していくのが難しいということだったんですが、先ほどの5ページで見たように、いろんな障壁があっ

たんですけれども、この未来法を使うことによって、県と市とそして企業が開発を進めるといえるその障壁、足かせがなくなるというようなことで今まで常総市や坂東市などで圏央道沿いで、開発してきたところも、この未来法を使ったことによって、その障壁が突破られて、いろんな規制が外されたようです。この20ページの右下にもございます。赤字で書いてありますが、規制の特例措置を受けることができますとあります。農地法や都市計画法、いろいろな配慮が受けられるってということが、わかりました。小美玉市でもこれに基づいてテクノパークだけじゃなく、この6号バイパスやアクセス道路付近に、この未来法を使って、我々の委員会がもっと勉強して、最終的に政策提言をまとめられるようにと考えているかと思っております。それで、この未来法を含めまして、県にこの委員会で研修に行けたらというように思っていて、坂東市や常総市などのように、小美玉市でもこういう工業団地とか開発を進めていけるようにと考えております。ですので、今日は皆さんとともに県の方に研修に行くことを提案したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

荒川委員。

○20番（荒川一秀君） 初めて聞いたこともありますけど、前向きにやっていくことは大事だと思います。どんどんアプローチかけてください。

○委員長（鈴木俊一君） 村田委員。

○11番（村田春樹君） せっかくなので県の方に勉強会っていう形で行くのであれば、産業建設常任委員会の仲間もここに入っていない方もいらっしゃるんで、そういった方も一緒に勉強に行ければというふうに思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（鈴木俊一君） 長島議長。

○議長（長島幸男君） 全員に声かけたらいいんじゃないの。

○委員長（鈴木俊一君） では、全議員に声をかけたいと思います。

岩本委員。

○15番（岩本好夫君） 今日の特別委員会の趣旨はよくわかるんだけど、この茨城空港アクセス道路と6号バイパスを利活用したまちづくりっていうのは、この委員会の趣旨は、その工業団地とかのところに、企業とかにいっぱい来てもらうように、努力しようってことなの。それをメインでやるってことね。

○委員長（鈴木俊一君） そうですね。

岩本委員。

○15番（岩本好夫君） わかりました。ただ、アクセス道路は今できているし、6号バイパ

スにしても今から何年以降になるかわからないけど、できますってなったときに、私達議員としては、例えば、その今6号は、渋滞もしがちだし、交通の便があんまりよくない。だからこそ、要するに例えば飲食店さんとか、いろんな6号沿いに張り付いている業者があると思うけど、今の6号だから経営が成り立っているとかもあると思う。これが、例えば土浦のようにバイパスになって、そっちの方が優先になれば、交通の利便性は良くなるけど、地元の方はもうほとんどお手上げ状態になって、例えば、6号バイパスができたときにどうなるかっていうようなことも大事なことだと思うんだよね。現に特に飲食店なんかそうだと思うし、今の6号沿いにあるからこそ経営が成り立っているとか。確かに、工業団地テクノパークとかに誘致するのも、当然、小美玉の将来にとっては大事なことだけど、例えば、現にバイパスになって、寂れてしまったところとか、そういったところの情報も研修に行った時に聞いて、何か行政でもできることがあればっていうことも考えた方がいいのかなとは思っただけど。現実にそこで商売している人達は、生活に関わる死活問題だから、そういったところを行政で何かできるかどうかはわからないけど、ちょっと調べてあげてやってあげたりするのも大事なことなのかなと思うけどね。

○委員長（鈴木俊一君）　そうですね。

荒川委員。

○20番（荒川一秀君）　反論するわけじゃないけど、6号バイパスは交通量の問題だからね。小美玉だけじゃないし。そういうふうな計画があって、ルートが変わったからと言って、そこまでこの委員会でも補償することができるわけじゃないし、補償じゃなくても、研修するにしても、結果的にどうするかっていうのはどうなんだ。

○委員長（鈴木俊一君）　岩本委員。

○15番（岩本好夫君）　行政とか議会とかが補償する問題じゃないけど、そういったところも住民の声としてわかっていく必要があるのかなっていうところ。今、やろうとしている研修のために県庁に行こうってことは、全然俺は反対でもないしね。だから、そういったことも考えておいてもらいたいってことを言ったところであって、何も行政で補償しようなんてことは考えてもないし、できる問題でもない。だから現実的な問題、そういった人がいっぱいいるということも、私は忘れないでちょっと住民の声を耳傾けたほうがいいんじゃないかっていうような意見です。

○委員長（鈴木俊一君）　他にはございませんでしょうか。事務局でその日程の調整お願いします。先方の都合もありますので、事務局と相談して日程調整して、連絡させていただきた

いと思います。参加できる方はっていうことで、全議員に周知したいと思います。

○委員長（鈴木俊一君） 村田委員。

○11番（村田春樹君） せっかくだから執行部も参加してもらいたいんじゃないですか。

○委員長（鈴木俊一君） そうですね。執行部にもお願いしたいと思います。

その他ございませんでしょうか。日程がわかり次第、この会期中にできればお伝えします。

他にご意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

○委員長（鈴木俊一君） ないようですので本日の協議を終了いたします。

副委員長と交代いたします。

○副委員長（島田清一郎君） 以上をもちまして、茨城空港アクセス道路と6号バイパスを利活用したまちづくり特別委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後 3時10分 閉会